

# すずか税のたより

第134号  
令和2年11月発行

### 主催及び発行者

鈴鹿納税貯蓄組合連合会  
Tel 059-371-0711  
(鈴峰企業(株)内)

### 協賛

鈴鹿税務連絡協議会

### 令和2年度 応募状況

作文

219編

習字

1,647点

絵はがき

1,927点



鈴鹿税務署長賞

小学生の絵はがきコンクール

鈴鹿市立河曲小学校

6年 柏木 晴太

## 小学生の税に関する習字



鈴鹿市立箕田小学校 5年 三崎 凧紗

三重県教育委員会賞



鈴鹿市立井田川小学校 6年 中家 愛

鈴鹿税務署長賞



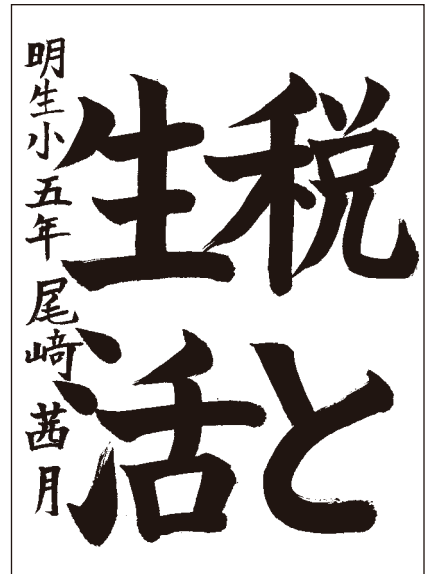
金賞



鈴鹿市立天名小学校  
5年 川喜田 莉子



鈴鹿市立椿小学校  
6年 上田 紗由美

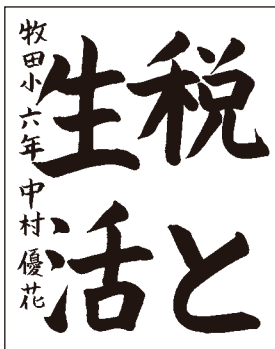


鈴鹿市立明生小学校  
5年 尾崎 茜月

銀賞



鈴鹿市立桜島小学校  
6年 山北 真央



鈴鹿市立牧田小学校  
6年 中村 優花



亀山市立井田川小学校  
6年 西村 美徠

銅賞



鈴鹿市立稻生小学校  
5年 金城 翔馬



鈴鹿市立玉垣小学校  
5年 林崎 絆



鈴鹿市立郡山小学校  
6年 市岡 陽菜



亀山市立亀山西小学校  
6年 宮原 莉音



亀山市立川崎小学校  
6年 一見 琉偉



## 全国納税貯蓄組合連合会会長賞

### 目に見えない支え

鈴鹿市立創徳中学校 1年 中田 一美

私の母はフィリピン出身で、私をよく夏休みなどの長期休暇の時にフィリピンに連れて行ってくれました。その時の出来事です。

私達は近くのショッピングモールで買い物をするために車に乗ってショッピングモールに向かっていました。そして道路で信号が青になるのを待っている時、私と同じぐらいの年の男の子が車がたくさん行き通う道路にもかかわらず、こちらに向かって一人でとぼとぼ歩いてきました。その男の子の格好はボロボロのTシャツとズボンに裸足で、かみの毛も整っておらず、決してきれいと言えるような格好ではありませんでした。どうしたのだろうと車内から様子をうかがっていると男の子は手に雑巾を持ち、車の窓を拭き始めました。日本ではこのような光景を見たことがなかったのでおどろきましたし、なぜ見知らぬ男の子が急に窓を拭き始めたのか疑問に思いました。そのようなことを考えているうちに窓拭きが終わりました。その時間約数十秒。本当にきれいになったのか怪しいぐらい短い時間でした。すると男の子は運転席の窓をノックし、運転席に座っていた叔父から日本円で数百円ほどもらい、他の場所へ行っていました。何が起こったか分からず、叔父にたずねてみると、貧困で十分な収入を得られない家庭に生まれた子供が窓拭きなどをしてお金を稼いでいるということを聞きました。

私はとても衝撃を受けました。家庭事情で私と年もそれほど変わらない子が家のために働くだなんて考えたこともありませんでした。

それにその日は平日の午前。本来なら学校にいる時間帯ですので学校にも通えていないことでしょう。

私は同年代の子が学校に行かず、家の収入のために働いていることにとってもおどろき、フィリピンの学校の制度は日本とどのように違うのか母にたずねてみました。フィリピンの学校は日本と同じように授業料は無料ですが、教科書や特別授業、学校設備などは自分で負担しなければならないため、貧しい家庭では学校に通うことができず大人になってからも安定した職業につけず、その子供も同じようになり悪循環が続いてしまうそうです。

しかし日本はどうでしょう。授業料、教科書、学校設備その全てが税金で払われているのです。そのおかげでほとんどの人が学校に通え、好きな職業に就くことができるのです。学校に通って勉強する。当たり前なことに感じてこれほど本当はすごいことなのです。税金があるから学校に通える。税金があるから当たり前のように生活ができる。それほど税金は私達の生活を支えているのです。

しかし今の私は周りの大人のように働いて収入を得て税金を納めることはできませんが消費税でなら納めることができます。そうして今の自分にできる事を考え、税の大切さを理解し、税を納めて社会を支えたいです。



## 鈴鹿税務署長賞

### 身の周りの税金

亀山市立関中学校 2年 平松 新菜

税について授業で少し学んだ事もあるけれど、私の身近にある税は何があるだろうと自分なりに調べてみた。

まず、一番身近でお世話になっていた事に気が付いたのは、年一回、鈴鹿保健所から送られてくる小児慢性特定疾病医療費助成の申請書類だ。

18才未満が対象（場合により20才未満）で治療期間が長かったり手術などにかかる高額な医療費の負担の軽減につながるよう自己負担分の一部を補助してくれる制度だ。

令和元年7月からは対象となる疾病は762疾病に拡大され、三重県では平成26年度の時点では1961人の登録者がいる。

私は4歳の頃、小脳に脳腫瘍が見つかり定期的に三重大学病院で検査をしてもらっていたが、4年生の春休みに切除手術をする事になった。

2週間の入院生活の中で同じ病室の人達は私よりもっと大変な病気なのに薬の副作用や辛い治療にも負けず勉強をしたり生きる事を前向きに命と向き合っていた。

本人はもちろん寄りそっている家族も色々辛い事もあるだろうけど、このような補助がある事で本当に支えられていると思う。

手術が決まった時、安心したが、母は手術費用どれくらいになるかと心配したらしい。

けれど三重大の先生から助成の事を教えてもらい、申請が無事通り、高級車を買えるくらいの高額の手術代の明細書を見た時、本当に助成のありがたさを感じ涙が出たそうだ。

たくさんの大人の人達に支えられて私は、元気に中学生生活を送る事ができて母はいつも「感謝の気持ちを忘れたらあかん。」と言う。

当たり前毎日に歩いている通学路、教科書そして今年はコロナの影響でみんなの安全を守ってくれている卓上シールドなど私達が安心して生活できるのは税金によって支えられているからだ。

今回の作文を書くまでは税金に対して特に興味もなかったし、消費税も上がったりあまり良いイメージがなかったけど自分が一番お世話になっていた事に気が付き、自分が大人になった時、今までの事を感謝して少しでも誰かの役に立てるように税を納めたい。

今は日本全体が大変な時だけど、批判や誰かをたたくのではなく、みんなが思いやりを持って支え合える未来を作って行きたい。

## 鈴鹿税務推進協議会長賞

### 私たちの暮らしと税

亀山市立中部中学校 3年 川原 美音

「税」と聞いて最初に思い浮かぶものは何だろうか、私の場合は「消費税」だ。消費税とは、買い物などの支出に対して支払う税金で、広く公平に課税される間接税のことだ。

消費税が、何のためにあるのか、何に使っているのかさえも何も知らずにただ「なんか損をしているみたいで嫌だな」と思っていた。だから、まずは知ることから始めようと思う。

そして、消費税は、私達の暮らしにどのように関わっているのだろうか。

消費税が導入されたのは1989年(平成元年)で、今から31年前である。大きな目的は、今後さらに進んでいくであろう高齢化社会で増え続ける社会保障費をまかなうためだ。社会保障とは、例えば、年金、医療費、生活保護費のような困ったときに国や社会が助けてくれる仕組みのこと。社会保障がないと生活できない人もいる。そのくらい、必要なものだ。消費税が、人々の暮らしのために使われていると知り、消費税を払う意味はあるとわかった。

私達は、親が失業したら親の雇用保険で守られたり、病気をしたら親の健康保険を使えたり、間接的に社会保障に守られている。気がつかないだけで、いつでもどこでも誰でも常に守られている。税金とは、私達の暮らしを豊かにし、守るものだと思う。私の消費税に対しての偏見は誤ったものだとわかった。

私は、1か月に3,000円程お金を使っている。消費税は10パーセントであるため、月に300円納税している。1年でいうと3,600円と中学生にとっては大きい数字だ。そんな大切なお金が実際はどのように使われているのかわからずに生きてきた。

税金は、身近なものでいうと、私の住む亀山市では、中学3年生までの医療費が助成されたり、学校の校舎や教科書、机や椅子などに使われている。1年間で中学生では、1人当たり約979,000円もの税金が使われている。「なんで消費税なんか払わなくちゃいけないの」と思っていたため、税金がこんなにも自分と関係があるものだと知り、とても驚いた。

もし、税金が無かったら、教育を十分に受けられる人と受けられない人、病気を治療できる人とできない人、老後も安定した暮らしができる人とできない人、他にもいろいろなところで格差が生まれてしまう。全員が教育を受けられたり、病気を治せているのは、税金があるからだ。そこから、税金の大切さを実感することができた。税金にありがたみを持つべきだと思った。

現在、身近にある税金は消費税だけだが、これから大人になるにつれ、様々な税金を納めることになるだろう。税金の使い道に関心を持ち、しっかりと納税していきたい。



## 鈴鹿税務連絡協議会長賞

### 税金に支えられ、生きている

亀山市立亀山中学校 2年 山中 萌々華

2019年10月に、消費税が8パーセントから、10パーセントに変わりました。私は、消費税が10パーセントに変わったとき、私は、正直嫌でした。ですが、今は税金の大切さを知ることができたので、税金が値上げしたことに対して、嫌という気持ちはありません。

私たちが生活する上では、ほとんどのものが税金によって、支えられています。そんな税金に私は、感謝していることが2つあります。

まず、1つ目は、私たちが勉強していく上で支えられている、教科書などの学校で使われている教材費などです。教材費が税金でまかなわれていることにより、多額の教材費を自分たちの家庭で払わなくてもよくなります。そのおかげで、私たちも小学校6年間と中学校3年間を無事に勉強をし、過ごすことができています。

もしも、税金で教材費をまかなうことができなければ、子供が多い家庭は困ってしまいます。また、少子高齢化が進んでいる日本では、教材費が税金でまかなわなければ、子供を持つ家庭が少なくなり、少子高齢化が今よりさらに問題になると思います。

2つ目は、公共サービスの1つの救急車です。救急車は、自分が大変な状態のときに助けにきてくれる、とても良いものです。私の家にも一度だけ、救急車にきてもらったことがあります。それは、弟がやけどをしたときです。足にお湯がかかってしまい、その時はとても大変な状況でした。ですが、救急車がきてくれたおかげで、大丈夫でした。日本では、税金で払われている救急車代ですが、カナダ、アメリカ、ドイツ、オーストラリアなどの国では、有料化が進んでいっています。ですが、この国はまだ、税金で高い救急車代がまかなわれています。そのことに感謝し、うその通報などはせず、正しく救急車を使うことが大切だと思いました。

私たちは、税金に支えられて生きています。今、困っている人たちがいるのなら、私たちにできることは、税を納めることくらいです。だから、税金が値上げしても良いと思います。税金が値上げするのなら、その分、不正に使われていないか、無駄な部分に使われていないかの確認が必要だと思いました。きっと、この先、消費税はどんどん値上がりしていくと思います。ですが、税金は私たちの生活を豊かにし、将来をより良くしてくれます。



## 鈴鹿納税貯蓄組合連合会長賞

### 税の大切さ

亀山市立中部中学校 3年 別府 玲衣

税金の使い道、大切さを分かっているようで分かっていたいなかった当時、私は「税金って本当に必要なんだろうか?」、「これって結局役に立っているんだろうか?」と思っていました。

そんなある日、私の通学路の道に横断歩道ができました。そこは以前から道を渡る際に危なく、ずっと横断歩道が欲しいと思っていた場所でした。その時に初めて、私は横断歩道を含め、私がいつも通っている道や信号機などは、全て税金でできていることを知り、税金の大切さを実感しました。

また、学校で使うもののほとんどが税金のおかげであることも知りました。それまでは教科書などが税金によって支給されているなんて考えたこともありませんでした。税金ではなく、自分達でお金を払っていた時代のことを考えると税金の大きさとありがたみを感じられました。他にも、一人一個の机と椅子、ロッカー、黒板など、値段を調べるとどれも高いものばかりで、私達が快適に授業を受けられるのは税金のおかげなんだなとしみじみ思います。

自分のことではなくても、税金の大切さをよく感じたことがあります。それは、年金です。年金にも税金の一部が使われています。私の祖父母は退職したら年金で暮らしていくと言っていました。ずっと退職したらどうやって暮らしていくんだろうかと心配していたことだったので、それを聞いた時はほっとしたのと同時にまた税金のありがたさを痛感しました。他にも、税金は災害の時にも色々なことに使われています。災害が起こった時、被害にあった方々に何も援助できずもどかしく思っていました。税金が役立てられていることを知って、日々私達が納めている税金がこんなにも大きな力になるんだなと、少し誰かの役に立てているんだなと思えました。

今、私は税金はもっと必要かもしれないと思えるほど税金の大切さを実感しています。面倒くさいという思いの方が大きくなってしまいがちかもしれませんが、目を向ければかなり税金に支えられていると私は思います。税金が無い世界のことを考えれば、やっぱり税金は必要なんだなと思います。今、コロナウイルスによって全世界が大変なように、いつ危機的状況におちいるかわかりません。そんな時に税金の力はめぐりめぐって自分を助けてくれると思います。余裕がある時に納めるお金とピンチの時に受け取るお金とでは全く違うと思います。また、自分が安全に暮らすには、周りの人の幸せもなければならぬと私は思います。一人一人の幸せが自分の幸せに繋がります。これからも快適に暮らしていくために、そして未来の自分の幸せのために、私はこれからも税金を納めていこうと思います。そして、みんなが税金の大切さを実感しながら幸せな人生のために税金を納めていけたら良いなと思います。



小学生の 絵はがきコンクール



鈴鹿税務推進協議会長賞

亀山市立亀山東小学校  
5年 小林 礼佳



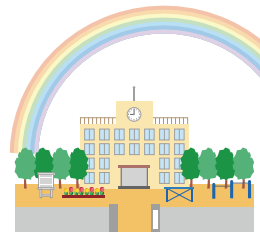
鈴鹿税務連絡協議会長賞

鈴鹿市立飯野小学校  
6年 龍野 天優

公益社団法人 鈴鹿法人会長賞



鈴鹿市立桜島小学校  
6年 山北 真央



公益社団法人 鈴鹿法人会女性部会長賞



亀山市立川崎小学校  
6年 伊東 桃花



# 小学生の 絵はがきコンクール

## 金賞



亀山市立亀山西小学校  
6年 岩田 侑子



鈴鹿市立合川小学校  
4年 徳永 梨良



鈴鹿市立河曲小学校  
4年 桐生 百華

## 銀賞



鈴鹿市立椿小学校  
6年 上田 紗由美



亀山市立亀山南小学校  
5年 山ノ内 亜莉沙



亀山市立神辺小学校  
4年 服部 心美

## 銅賞



亀山市立亀山東小学校  
6年 佐藤 優斗



鈴鹿市立桜島小学校  
6年 小林 侑生



鈴鹿市立国府小学校  
4年 藤田 美代子



鈴鹿市立桜島小学校  
6年 村松 涼音



鈴鹿市立河曲小学校  
6年 田中 愛純